

石川県長寿社会プラン2024(案)に対するパブリックコメントの結果について

1 募集期間 令和7年2月21日(金)～3月20日(木)

2 寄せられた意見 5件

番号	意見の内容(要旨)	意見に対する県の考え方
1	<p>【サービスを支える人材の確保】 私の住宅型有料老人ホーム内には訪問介護事業所とデイサービスの事業所が併設されており、職員を常勤管理表で管理していますが、煩雑で非効率的です。介護人材不足の現状では、同一建物内に訪問介護事業所とデイサービス事業所が併設されている場合は両方を兼務できるようにして頂きたい。</p>	<p>人員配置基準は、国の基準等で定められていますが、介護人材が不足する中、どのように介護事業所を効率的に運営していくかについては、現場の皆様のご意見をいただきながら、必要に応じて国に要望していきます。</p>
2	<p>【介護予防と生きがいがづくり、健康づくりの推進】 町内の集会場で週1回ペースで指導員を決めて健康維持の体操を推進したらどうか。有償ボランティアの大学生を募るなどして石川県として大々的にこれを推進してはどうか。介護保険料の節約にもなると思う。</p>	<p>地域の集会所や公民館での体操教室や交流活動は、高齢者の介護予防に大変有効な取組です。県では市町とも連携し、リハビリテーション専門職による体操教室の開催や指導者養成に取り組んでおり、今後も効果的な介護予防事業を推進していくこととします。</p>
3	<p>【認知症施策推進】 認知症の方の徘徊、失踪が深刻な問題なので、GPSの付いたリストバンドなど身に付ける徘徊対策品を安価で配布して欲しい。認知症人口は必ず増えていくと思うので失踪回避の為に石川県として推進して欲しい。</p>	<p>県内市町の中には、徘徊行動が見られる高齢者の家族へのGPS機器貸出し、行方不明高齢者を地域で連帯して早期発見するためのメール配信システムの運用などを行っています。県はこうした市町の取組を支援しており、市町の取組が広がるよう働きかけていきます。</p>
4	<p>【サービスを支える人材の確保と質の向上】 訪問介護事業所の倒産や休廃業が急増している主な原因は「人手不足」であり、職員の負担増加が離職を引き起こしています。2024年の最低賃金上げや物価高騰に伴う経費増加も、事業の継続の大きな課題となっています。令和7年2月5日の厚生労働省通知「訪問介護サービス提供体制確保支援事業実施要綱」を参照し、具体的な改善策の実施を求めます。</p>	<p>県は、電気料金や燃料費等の上昇分を価格転嫁できない介護事業所等に対して、負担軽減を図るための支援金を支給します。介護人材確保のための施策は幅広く実施しており、介護職員の処遇改善加算の事業所への申請促進をはじめ、新たに職員の手当等や職場環境改善に要する経費を補助することとしています。</p>
5	<p>【石川県社会福祉会館別館長寿生きがいセンターの有効活用について】 石川県社会福祉会館別館(旧寿康苑)の、「長寿生きがいセンターサークル会」は、日々活動を続けております。この会館は1982年(昭和57年)建設され42年経過しており、設備の老朽化の対応がされず、活動の場が大幅に制限されているのが現状です。この施設の積極的な活用を「石川県長寿社会プラン2024」に生かして頂けたらと強く思います。</p>	<p>長寿生きがいセンター(社会福祉会館別館)は、昭和57年に設置して以来、県内の老人福祉センターのモデル施設として、大きな役割を果たしてまいりました。県としては、施設の老朽化が進み今後大規模な修繕は難しいものの、引き続き可能な範囲で維持に努め、利用できる間はサークル等への貸館を継続したいと考えています。</p>